

2020

7月

北房通信



外から帰ったら手洗いうがいをきちんとしようね。

令和2年7月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内の出来事などを不定期で発信します。

出水期に万全の備えをしよう

～西日本豪雨から2年～

2年前の7月、西日本を中心とした広範囲で数日間にわたって記録的な大雨が降りました。この通称「西日本豪雨」は、倉敷市真備町など特に岡山県内に大きな被害をもたらし、北房地域でも河川堤防の損壊や農地・道路等の法面崩落が相次ぐなど、多くの爪痕を残しました。

これをきっかけに防災意識が高まり、真庭市でも指定緊急避難場所の見直しや自主防災組織の連携体制づくりが始まりました。そのほか、避難所開設の訓練や防災士の資格取得など、各地で地域が主体となった活動も見られるようになり、組織的に災害に対する備えをするようになっています。



豪雨で増水した備中川(平成30年7月)

今年も梅雨に入り、長雨や局地的豪雨に注意が必要な時期になっています。また、夏から秋にかけては台風が発生しやすい季節になります。皆さんも日頃から防災グッズの準備や確認、短期予報のこまめなチェックなど、ひとりひとりでできる「備え」をしましょう。



北房ダムで"洪水調整" 大雨に備えて事前放流します

北房ダムでは現在、大雨に備えてあらかじめダムの水を放流する「洪水調整」を行っています。これは、国が西日本豪雨や昨年の台風19号での被害を教訓に、下流域の氾濫リスクを減らすために新たに方針を出したダムの運用方法で、岡山県内の3つの1級水系でも今年5月に関係自治体と協定が交わされ運用がスタートしました。

北房ダムは1980年に完成した灌がい用のダムです。総貯水量は104万 m^3 で、そのうち洪水調整可能容量とするのは20.6万 m^3 。あらかじめ放流を行うことで、大雨時の緊急放流を避けることができます。

空き家を売りたい！貸したい！という人は "空き家情報バンク"に登録を

真庭市では、地域の空き家を有効に活用し、「真庭に移住したい」という人へ住まいの情報を提供する『空き家情報バンク制度』を設けています。

申請方法は簡単ですので、使っていない家を売りたい、貸したいという方は、ぜひご登録ください。

お問い合わせは…

▶真庭市交流定住センター

TEL0867-44-1031

▶北房振興局地域振興課

TEL0866-52-2111



申請から登録までの流れ

①申請書を提出

「真庭市空き家情報バンク登録申請書」を市に提出。申請書は北房振興局、市ホームページ上にあります。

②マッチング

所有者立会いのもと物件の下見会を実施し、取扱業者(不動産業者)を決定。

※物件の状態によっては成立しないこともあります。

③情報を公開

ホームページ上に空き家情報を公開

▶空き家情報を見て買いたい、借りたいという人が現れれば、不動産業者を介して取り引きに入ります。